

葉っぱで遊ぼう

- 1 日 時：平成29年6月25日（日）
午前の部 11：00～12：00
午後の部 13：15～14：15
- 2 場 所：福井ふるさと学びの森（大野市 自然保護センター自然観察の森）
- 3 参加者：20人（大人9、子ども11）
- 4 講 師：山田 儀一さん（自然観察指導員の会）
- 5 主 催：福井県自然保護センター、福井県里山里海湖研究所
- 6 イベントのようす：



いろいろな葉っぱを見つけたよ！



ホオノキの葉で上手にお面を作りました。



コシアブラの剣、どうやって作るのかな？

小雨まじりのお天気でしたが、森の中は木々が天然の傘となり、葉っぱ遊びに興味津々の子どもたちが集まりました。

講師の山田儀一さんが「6月の森にはおいしいものがあります。味見しましょう。」とお話すると、子どもたちは大喜びです。出発してすぐにモミジイチゴを見つけました。そっと口に入れると、甘酸っぱい味が広がりました。次はヤマグワです。熟した紫色の実はとても甘く、大好評でした。

さあ、いよいよ、葉っぱ遊びの始まりです。最初は笹の葉の笛です。葉っぱの赤ちゃん（葉が広がる前）を使って簡単に作ることができました。吹いてみるとかわいい音が出ました。

次は森でお勉強です。クロモジの枝を鉛筆代わりにしてタラヨウの葉の裏に好きな文字を書きます。すると文字が黒く浮き上がってきました。タラヨウは「ハガキの木」と言われ、書いた文字は長い間消えないのです。大人の方もびっくりしていました。

ホオノキも発見。大きな朴葉を使って、参加者全員がユニークなお面を作りました。

最後はコシアブラです。山田さんがコシアブラの枝どうしをこすりあわせています。子どもも大人も不思議そうに眺めていると、皮がスルリととれてコシアブラの剣になりました。子どもたちは大興奮です。早速、自分の剣を作り始めました。だんだん枝が固くなるので、剣ができるのは7月の終わり頃までだそうです。

葉っぱで遊びながら、アカハライモリやモリアオガエルのタマゴなどの生き物に出会うこともでき、6月の森を満喫することができました。